

歴民だより

歴史民俗資料館

令和2年度 11月号 No.85

郷土の先人紹介

森部の戦いで活躍した まえだ としいえ 前田 利家



▲出世の松（森部）

NHK大河ドラマ「利家とまつ」を記念して、信長、利家がこの地から出世していったという縁起にあやかって植樹された松。

幼少より織田信長に仕えていた前田利家は、22歳（1559年）の時、信長が寵愛していた拾阿弥（※1）を斬り捨てたことにより信長の怒りをかい、流浪の身となります。

その後、桶狭間の戦い（1560年）にひそかに参戦し、敵方の首級をあげますが、帰参を許されることはありませんでした。

翌年（1561年）、当町が戦場となった森部の戦いで活躍により、ようやく帰参を許されることとなります。槍の名人として言われた評判どおりの働きぶりがありました。

この森部の戦いは、信長にとって美濃攻略の突破口であったと同時に、利家にとっては加賀百万石（現石川県金沢市）の大大名への栄達につながる重要な戦であったといえます。

※1・・・織田信長に仕えた同朋衆（側近）の一人。前田利家は、自身のこうがい 笄（髪を整える装飾的な結髪用具）を盗んだとして、斬り捨てた。

ハートピア安八
- 歴史民俗資料館 -

住所：岐阜県安八郡安八町氷取30
お問合せ：0584-63-1515